

地方創生関係交付金事業の事前評価・意見 No. 1

事業の名称	地域資源を生かした高付加価値産業育成事業(地方創生加速化交付金)※前身事業 とくしま新未来産業のブランド創出とグローバル展開戦略(地方創生推進交付金)※後継事業	
評価	意見	
本事業が相当程度有効であった	具体的な施策が行われているが効果のあったものの時間が足りなくて目標値に届かない事業も多かった。新商品の開発には期待が持てるので、テーマをしぼって重点的に予算配分をしてほしい。	
本事業が有効であった	KPI指標のいくつかは目標値を達成しておらず、今後一層の努力が必要と考え、有効であったに印をつけた。高付加価値商品の開発、農商工連携支援事業のいずれも市と産業発展のために必要なものであり、今後この事業を進めていくことが必要であると考え。地産地消の推進もはかられていくことが必要であろう。期間の問題や商工業者の事情等もあろうが、一層の推進をお願いしたい。	
本事業が有効であった	1 首都圏における「とくしま食材ブランド化推進」については、まず取扱店舗の増加が不可欠であることを考えれば、魅力発信の取組が効果に結び付いていないことが残念である。広報ツールの充実と同時に「人脈」が大切なのではないかと。 2 地産地消の積極的PRは評価できる。ビンゴゲームなど独創的な仕掛けに期待したい。	
本事業が有効であった	本事業はKPIが多少伸び悩んでいるものの、基本目標の達成に貢献していると判断し、有効であったといえる。取組内容も基本目標の方向性に合っており、特に「とくしま地域資源活用事業」は基本目標に貢献する伸びしろが大いにあると考えられ、事業の実施は期待できる。 逆に、「とくしま食材ブランド化推進事業」は基本目標達成には必要であると考えられるが、目標値が達成できていないため、老若男女に情報が届きやすく興味を持ちやすいようなSNS等を活用した広報をする必要があると考えられる。	
本事業が有効であった	全体として“効果があった”とするには早すぎる段階ではないだろうか。目標値も達成していない項目が多い。しかし、一定の取り組みや成果が認められるため、事業としてみると必要であったと考えられる。 個別では、「とくしま食材ブランド化推進事業」について「発信できた」となっているが、重要なのは受信側の意見である。効果的な発信であったのか、先につながる内容であったのか等、検討して、次に活かすとよいと思う。	
本事業が有効であった	現時点では、目標に結びつく成果がほとんど見られない状況であり、有効性の実質的な判断は難しい。 「とくしま地域資源活用支援事業」は、どのような根拠で「効果があった」と言えるのか疑問。「農商工連携等支援事業」は、試作品開発0件で「相当な効果」となぜ言えるのかも疑問である。	
本事業が有効であった	KPIの達成に向けて、進んでいると感じられる。 取組内容も基本目標に合致し、地域の特性も活かしたものとなっている。 とくしま地域資源活用支援事業、とくしま食材ブランド化推進事業については、これらが順調に進むと他の取組にもプラスになると思うので頑張ってもらいたい。	

地方創生関係交付金事業の事前評価・意見 No. 2

事業の名称	賑わいコンパクトシティ形成事業（地方創生推進交付金）	
評価	意見	
本事業が相当程度有効であった	<p>本事業は、事業のKPIを達成できており、基本目標の達成に向けて順調に推移しているため、相当程度有効であったといえる。</p> <p>特に「水都・とくしま魅力発信事業」にて成果として挙げられた徳島市シティプロモーションサイトのデザインはとて見やすく、水辺でのイベントも興味を持ちやすい。今後も事業を継続して実施・拡大に努められると良いと考える。</p>	
本事業が相当程度有効であった	<p>プロモーション事業については、担当者の人的素質、体制によるところが多い。若手、女性、外部協力者など多様性のある体制見直しが望まれる。</p> <p>「建物立地調査事業（都市機能部分）」については調査のみに留まっており、その分析とKPI向上への知見整理すべきであるが、記載されていない。</p>	
本事業が有効であった	<p>人口の社会増の実現ということで進められている事業で、28年度には、+74人の実績をあげられたが、ネットへのアクセスの増加、市の魅力の再認識が、その理由としてはやや弱いことが挙げられる。また、集約型都市構造の形成についても調査・研究の段階であり、取り組み効果を計るには難しいのではないかと。こうした点から、有効であったに印をつけた。今後有効なシティプロモーション、観光プロモーションの展開を期待したい。</p>	
本事業が有効であった	<p>都市ブランドの向上に向けてWEBサイトの充実などによりアクセス数が増加したことは評価できる。にもかかわらず「地域ブランド調査」の魅力度ランキングは依然として低迷していることから、SNS、出版物、マスコミ、パブリシティなど多角的な情報の発信戦略を推進することが求められる。</p>	
本事業が有効であった	<p>少ない予算の割には新しいWEBコンテンツを作るなど一定の効果があつた。</p> <p><7-2 計画的な都市づくりの推進>に関しては、まだ評価の段階でないように思う。</p>	
本事業が有効であった	<p>本事業はKPIが達成できており、有効であったと思えるが、「集約型都市構造の形成」については、調査・研究が成果として挙げられており、具体的にアウトプットされていないことから、社会増減数は本事業のみでの結果であると判断しきれない。今後の取り組みが重要であり、期待したい事業である。</p>	
本事業が有効であった	<p>KPIを達成できており、効果があつたと考えられる。</p> <p>数値的には順調に推移しているが、実際に生活している者としては、都市のにぎわいやコンパクトシティの利便性はそれほど感じられない。</p>	

地方創生関係交付金事業の事前評価・意見 No. 3

事業の名称	女性・若者活躍促進事業（地方創生推進交付金）
評価	意見
本事業が相当程度有効であった	<p>本事業は取り組みの成果が認められることから、相当程度有効であったと考えられる。</p> <p>創業促進事業については、支援内容などのノウハウを蓄積し、情報を共有する等、今後活かして欲しい。また、若者の人材育成については、卒業後も本県で活躍する場を与えられるよう努め、流出を防ぐことを考えなければならない。（またはUターンなど）</p>
本事業が有効であった	<p>創業促進事業は目標値を達成しているが、正規雇用者数は未達成である点などから、有効に印をつけた。</p> <p>女性や若者の働く場の確保は、市の魅力アップにつながり、人口の増加にもつながるものであり、さらなる推進を図ってほしい。</p>
本事業が有効であった	<ol style="list-style-type: none"> 1 創業促進については、実際の創業件数が増加していることから有効であったと言える。 2 若年労働者の正規化促進については現時点では事業の周知に先行的に予算を執行しているとのことだが実績には結びついていない為、効果の有無の判断にはもう少し時間を要する。 3 市高生の次世代プロデュース事業の中身は大変に重要な事項ばかりであるが、この内容について客観的に効果を測定することは難しい（どのような指標で判断するのか？）
本事業が有効であった	<p>本事業は制度実施期間が短期間のものもあったが、基本目標の達成に貢献していると判断し、有効であったといえる。</p> <p>特に「若年非正規労働者正規化促進」事業は基本目標の方向性にあっており、現代社会においても重要なものであろう。この事業の広報を充実させることは目標の達成につながるのではないだろうか。</p>
本事業が有効であった	<p>創業支援は県・市・各種団体それぞれが積極的に取り組んできた事業であり、一定の効果は出ている。</p> <p>ただ、人材育成については、実績、数字が低すぎて問題だと思う。もっと効果的な新しい事業を考えてほしい。</p>
本事業が有効であった	<p>女性・若者に限定した指標が必要でないか。</p> <p>「市高生次世代プロデュース事業」は事業内容しか書かれていない。どのような事実をもって“相当な効果があった”と判断しているのか？</p>
本事業が有効であった	<p>基本目標の達成に順調に推移していると感じる。</p> <p>取組内容は基本目標に合致していると感じる。</p> <p>特に創業促進事業は基本目標の達成に効果的であると考えられる。ただ、事業主の高齢化によって需要があるにもかかわらず、事業を終了するような場合に、これを継承できるような人材を育成もしくはマッチングを図るような取組も必要と感じる。</p>